

短編映画『keynote』製作協力

阿尾茂毅監督による短編映画『keynote』の製作にウインクツースタジオは技術協力を行いました。

過去何十年もの長い間、フィルムカメラが主流だった映画製作業界（技術的にフィルムを超えることができなかった為）も、ここ数年デジタル化が進んできており、大判センサーを搭載したレンズ交換が可能なデジタルシネマカメラが徐々に主流となりつつあります。2012年4月16日より開催されたNABショーでは、Canon EOS C500、BlackMagicシステムカメラ、Panasonic 4K Varicam、Sony FS700、Red EPIC、SCARLET等、4Kにも対応したカメラが出ており、性能面、価格面でも大きな注目を集めています。デジタル撮影の映画製作は、VFXやCGなどの撮影素材の後加工がフィルムより容易であり、ポストプロダクションを利用することが必然的な流れになっています。フィルムに近いダイナミックレンジと多様な交換レンズの選択により、製作会社でのデジタルシネマ製作の方向性がより進んでいます。

今回、キャノン C300 デジタルシネマカメラにより全編をログモードにて撮影、オフライン、オンライン、グレーディング、ダビング作業と収録から全てのポストプロ作業をウインクツーで行いました。

C300 の特性や編集ワークフローに至る迄、今後ますますデジタル化が進む映画ポストプロ作業において、ウインクツーでは独自のノウハウを今後も蓄積し、映画のワンストップ、ファイルベースワークフローに対応していく所存です。

尚、映画予告編が視聴可能なサイトを現在準備中です。

